



月2回刊=1396号  
2013年9月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸九番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

自治労第86回定期大会

国公給与  
特例減額

地公給与への波及で議論

対政府との交渉強化を確認

自治労第86回定期大会が  
8月26日から28日の日程で  
大阪市において開催され、  
向こう2年間の運動方針が  
確認された。

大会では、地公賃金削減  
問題で「4・26の統一行動  
があったからこそ各自治体  
での提案押し戻しにつな  
がった」「6月議会提案を回

避した単組の闘争はここか  
らが山場。本部のたたかう  
姿勢を！」など、地方公務  
員賃金の削減問題に対する  
発言が相次いだ。自治労本  
部は「自治体単組の45%が

削減なしを勝ち取り、43%  
が削減を緩和させた。今回  
限りの削減とさせるため、  
引き続き対政府交渉などを  
強化する」と答弁し、た  
たかいを継続していくこと

削減なしを勝ち取り、43%  
が削減を緩和させた。今回  
限りの削減とさせるため、  
引き続き対政府交渉などを  
強化する」と答弁し、た  
たかいを継続していくこと

は、会場外の大坂城公園内  
で、大阪府本部主催の「自  
治の未来を『劇場型政治』  
から取り戻す大阪集会」が  
開催され、3千5百人が結  
集。橋下維新の会による、



2014-2015年度の運動方針を決めた自治労大会



地方自治研

ナー / 自治労岩手県本部第35年次



写真:上は自治研集会の様子。  
写真:下は政治情勢について  
講演する又市参議院議員。

自治労岩手県本部第35年次自治研集会  
2013いわて地方自治  
研究会(自治労岩手県本  
部第35年次前期自治研集  
会)が9月7日、盛岡市・  
岩手労働福祉会館において  
開催され、県職労から20人  
が参加した。

集会では、第1講座とし  
て岩手県立大学教授の田島  
平伸さんから、「道州制度  
と地方自治の方向につい  
て」と題した講演を受けた。  
田島さんは、「地方自治  
は、補完主義の原則(市町

情勢と今後の行政施策学習

県職労からも20人が参加

研究会(自治労岩手県本  
部第35年次前期自治研集  
会)が9月7日、盛岡市・  
岩手労働福祉会館において  
開催され、県職労から20人  
が参加した。

村中心)で行うべき。今の  
政府議論では、交付税改革・  
行財政改革のための道州制  
になってしまふことが危惧  
される」と話した。  
続く第2講座では、社民  
党党首代行の又市征治参議  
院議員から、「参議院選挙  
後の情勢と課題について」  
と題した講演を受けた。  
又市党首代行は、「自民  
党の比例得票率は3割強で  
あり、むしろ政権与党と国  
民の声の『ねじれ』は解消  
されていない。選挙は日常  
活動の集約であることを肝  
に銘じ、労働運動を進めて  
ほしい」と強調した。

予約は、自治労ホームペ  
ージ(<http://ch-re.jp/yichiro/>)  
又は専用フリーダイヤル  
(受付平日の10時~19時/  
0120-556-113  
へ)。

実施日時と場所は次のと  
おり。  
■日時:10月9日(水)午  
後3時~午後8時30分  
■場所:宮古市役所分庁舎  
3階「小会議室」、宮古市  
役所別館「休憩室」  
■対応:カウンセラー長  
島恵子さん、松永京子さん  
(お二人とも自治労推薦の  
カウンセラーです)  
予約は、自治労ホームペ  
ージ(<http://ch-re.jp/yichiro/>)  
又は専用フリーダイヤル  
(受付平日の10時~19時/  
0120-556-113  
へ)。

自治労  
「11人の相談室」開設

心の疲れに、言葉のビタミンを  
東日本大震災から2年  
半、大津波被害及び放射能  
汚染の対応・復興に奮闘し  
ている組合員と他県等から  
の応援職員の皆様を自  
治労・県職労として支援す  
るために、5月に引き続き  
相談対応を行うもの。  
実施日時と場所は次のと  
おり。  
■日時:10月9日(水)午  
後3時~午後8時30分  
■場所:宮古市役所分庁舎  
3階「小会議室」、宮古市  
役所別館「休憩室」  
■対応:カウンセラー長  
島恵子さん、松永京子さん  
(お二人とも自治労推薦の  
カウンセラーです)  
予約は、自治労ホームペ  
ージ(<http://ch-re.jp/yichiro/>)  
又は専用フリーダイヤル  
(受付平日の10時~19時/  
0120-556-113  
へ)。

自治労  
「11人の相談室」開設

心の疲れに、言葉のビタミンを  
東日本大震災から2年  
半、大津波被害及び放射能  
汚染の対応・復興に奮闘し  
ている組合員と他県等から  
の応援職員の皆様を自  
治労・県職労として支援す  
るために、5月に引き続き  
相談対応を行うもの。  
実施日時と場所は次のと  
おり。  
■日時:10月9日(水)午  
後3時~午後8時30分  
■場所:宮古市役所分庁舎  
3階「小会議室」、宮古市  
役所別館「休憩室」  
■対応:カウンセラー長  
島恵子さん、松永京子さん  
(お二人とも自治労推薦の  
カウンセラーです)  
予約は、自治労ホームペ  
ージ(<http://ch-re.jp/yichiro/>)  
又は専用フリーダイヤル  
(受付平日の10時~19時/  
0120-556-113  
へ)。

第五世代

2020年東  
京五輪の開催が  
決定した。夏季  
五輪として54年  
ぶり、冬季をあ  
わせる4度目  
の日本での五輪  
開催となる▼ブ  
レゼンテーション  
では、福島第1原発事故  
に関する質問が多く出され  
たが、猪瀬都知事は「福島  
からは250km離れており  
東京は安全」とし、安倍首  
相の最終プレゼンでも「汚  
染水は港湾内で完全にプロ  
ックされている」と断言し  
た▼これらの発言の主語は  
全て「東京」では、東京  
へ電力供給している原発の  
立地県である福島の住民や  
避難を続ける人々の生活は  
どうなのか?、本県を含  
め高濃度の放射線の影響で  
農作物栽培を廃業に追い込  
まれた人々の生活をどう考  
えているのか?。さまざま  
な課題が五輪招致の影でか  
すれてきている感否めな  
い▼開催まであと7年。五  
輪の開催へ準備のスピード  
は加速するだろうが、福島  
や被災地の復興も加速しな  
くてはならない。「五輪開  
催」も「原発からの脱却」  
も「震災からの早期復興」  
も、国民の「希望」である  
ことに変わりはない。国民  
の生活よりも、五輪での経  
済効果が優先されることの  
ないよう、政府の良識を期  
待する。

# 一人ひとりが危機感持つて

## 現業評議会 第54回定期総会

県職労現業評議会は9月7日、盛岡市のエスポワールいわてで第54回定期総会

を開いた。総会には、各支部から34人が出席、昨年度の取り組みや今年度の運動方針などについて議論を行った。

遠藤議長は冒頭のあいさつで「昨年は、前執行部を中心にきめ細かい取り組みを行っていただいたことで

2名の新規採用を勝ち取ることができた。今年も3名の退職者が予定されており引き続き補充の実現に向けて努力していきたい。また、地方交付税減額と

いう国の強制によって7月から賃金カットが行われている。状況は厳しいが、今年度末で確実に終わらせるためにもこの人勸期から定期のたたかいが極めて重要になる。常に向上心と発想力をもって今後の取り組みに尽力していただきたい」と述べ改めて組合への結果を訴えた。

方針議論では、「年金との接続問題」、「二人職場対策」、「賃金課題」などで議論が交わされ、一人ひとりが危機感を持つて要求の実現に向けて取組んでいくことを確認した。総会では最後に遠藤議長の団結ガンバローを三唱で終った。



(写真・上)全議案を賛成多数で決めた現業評議会  
(写真・下)退職者補充の実現に向けて団結ガンバロー

## 県庁支部が新体制を確立

県職労県庁支部は8月22日、2013年度の役員選挙結果を公示。新体制を確立した。役職と氏名は次のとおり。(敬称略)

支部長 長沼 英友(空港課)  
副支部長 佐々木昭司(出納局)

同 吉田 耕(広聴広報課) 書記長 佐々木琢磨(雇用対策労働室) 書記次長 藤村 秀樹(建設技術振興課) 執行委員 黒澤 裕彰(市町村課) 同 中村 貴文(保健福祉企画室)

同 上野明日香(畜産課) 同 坂下 修(議会議務局) 同 後藤 成二(森林整備課) 同 金崎 毅(雇用対策労働室) 同 筒井 実(水産振興課)

同 高橋栄治郎(建築住宅課) 同 佐藤 佳之(下水環境課) 同 向久保祐二(管財課) 会計監事 菊池 琢也(観光課) 同 藤澤 潤一(総務事務センター) 同 古舘 俊也(県土整備企画室)

## 県職労総合共済



盛岡 伊藤清博 13 06 清翔  
盛岡 川又康明 13 07 煌正  
盛岡 及川敬志 13 06 四葉  
気仙 上部明広 13 07 夏生

今開催分は、2013年7月5日から2013年8月26日までに行われた総合共済給付分です。

お悔み 申し上げます

県庁	小野寺利幸	13	06
県庁	藤村 秀樹	13	08
盛岡	星川 公子	13	06
盛岡	藤原 真希	13	07
一関	八重樫智広	13	07
一関	石田 俊幸	13	07
釜石	荒澤 大輔	13	06
誕生	生	06	07
県庁	廣田紀代子	13	07
県庁	川又翔子	13	07
県庁	須田智昭	13	07
県庁	高杉大祐	13	08
県庁	高杉大祐	13	08
県庁	高杉大祐	13	08
県庁	伊藤圭太	13	08
県庁	三上俊助	13	08
盛岡	小川健雄	13	05
盛岡	小川健雄	13	05
県庁	八重樫弘喜	13	01
県庁	長谷川俊夫	13	06
盛岡	春日川都	13	05
盛岡	鈴木清紀	13	06
盛岡	藤巻誉晶	13	07
盛岡	児玉英樹	13	05
盛岡	児玉英樹	13	08
盛岡	橋本政樹	13	07
花巻	佐々木満	13	06
胆江	阿部亮助	13	07
胆江	菊田亮助	13	03
胆江	泉田昌治	12	10
一関	根子善昭	13	08
一関	安藤 薫	13	05
宮古	千葉和弘	13	05
本部	千葉和弘	13	05

**「再取得価額」で住宅も家財も安心**

火災、落雷等【火災共済】に加えて、地震・風水害から盗難まで【自然災害共済】幅広く保障。損害額を「再取得価額」で認定するので安心です。

いちろうの 火災共済・自然災害共済

自治労共済本部

詳しくは所属する組合まで

### こんなとき、組合へお知らせください!

結婚した、子どもが生まれた、身内(配偶者、本人又は配偶者の親、子ども)に不幸があった、火災や自然災害で住宅に被害を受けた…。

これらに該当する事由が発生しましたら、**県職労総合共済(全組合員加入)**の給付対象となることがありますので、組合書記局までご連絡ください。

詳しい給付要件、請求手続き等についてご説明いたします。

なお、給付の請求期限は、**事由発生日から3年以内**です。

特に、2011年3月11日に発生した東日本大震災による被害の場合は、2014年3月11日までに請求手続きを済ませないと、給付を受けることができなくなります。

また、県職労総合共済は、火災はもちろん、地震や豪雨、降雪などの自然災害による被害も給付の対象となります。8月9日の豪雨による被害も含めて、被害を受けた場合は、**被害の大小にかかわらず、組合にご相談ください!**

組合員限定

## 生活応援運動展開中!

**\*ろうきん「セーフティローン」**  
融資金利:固定金利年2.00%  
融資金額:最高100万円  
融資期間:最長10年  
**取扱期間:9月30日(月)まで**

**\*総合共済「共済掛金貸付事業」**  
7月分から11月分までの共済掛金の合計額(上限75,000円)を無利子で貸し付けます。返済は、12月の一時金で一括返済。  
**申込締め切り:毎月月末(11月まで)**

詳しくは各支部書記局までお問い合わせ願います!